

授業概要

「幅広い教養」と「専門的な知識・技能」の修得を通して、学生が有為な人材として育つことを念頭に置き、本講座は、特別の教科 道徳の基礎理論、そして実践的指導力を身に付けることを目標にする。小学校の道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行われている。平成26年10月、道徳の時間は「特別の教科 道徳」とされ、道徳教育は大きな転換期を迎えた。教師(指導者)には、道徳教育の実践力が一層求められている。そこで、指導要領解説を事前に読み込むとともに、実践に基づいた確かな実践力を高めるため、対話型授業を中心に、アクティブラーニングを取り入れ、実践的な学習になるよう指導する。①道徳とは何か、その本質について多角的に考察する。②小学校学習指導要領道徳の読解を通して、道徳教育の基本的な在り方とその特質を理解し、実践に関する基本的知識・スキルを習得する。

授業計画

第 1 回	ガイダンス（講義内容の概要と留意点） 特別の教科 道徳の自己経験を振り返り、学習の意義と役割を考える
第 2 回	道徳に対する学習イメージの具体化
第 3 回	道徳教育の成立と必要性、変遷と諸相の理解
第 4 回	特別の教科 道徳の領域と体験活動の実際とカリキュラム構成を考える
第 5 回	実践事例（1）道徳教育の意義・目標
第 6 回	実践事例（2）道徳教育の内容・指導計画①
第 7 回	実践事例（3）道徳教育の内容・指導計画②
第 8 回	実践事例（4）道徳の時間の指導（学習指導案）①読み物資料を使用した基本授業例
第 9 回	実践事例（5）道徳の時間の指導（学習指導案）②体験活動に基づいた基本授業例
第 10 回	特別の教科 道徳の指導計画と指導案を立てる（1）目標、体験活動の重視
第 11 回	特別の教科 道徳の指導計画と指導案を立てる（2）単元・教材構造図と指導計画立案
第 12 回	特別の教科 道徳の指導計画と指導案を立てる（3）本時案の作成と評価計画の立案
第 13 回	実践事例（6）教育活動全体を通じて行う道徳教育・高等学校の道徳教育
第 14 回	実践事例（7）家庭や地域社会との連携・道徳教育の評価
第 15 回	課題設定と課題解決に基づく個別研究のまとめ
第 16 回	筆記試験の実施：特別の教科 道徳の基礎理論と実践的指導力を深める

到達目標

- ・現代的な課題と特別の教科 道徳の領域の意義を理解することができる。
- ・子どもの発達段階を踏まえた道徳教育の理解を深めることができる。
- ・特別の教科 道徳の授業づくりと実践的指導力・評価力を獲得することができる。
- ・特別の教科 道徳の実践的カリキュラムづくりをアクティブラーニングによって開発することができる。

履修上の注意

教職履修の必修科目として、資格・免許状取得（教職・学芸員・司書）のための知識や技術、社会に貢献する力を身に付けます。教職に就くために、理論とともに生きてはたらく実践力を学ぶことをふまえ、受講生が積極性と熱意をもって参加されることを期待しています。遅れてのレポート提出は受け付けますが、受講には実践力を育成するため、遅刻は原則認められません。事由を相談してください。

予習・復習

- ・予習：配布資料を読み、課題を調べ、課題意識をもち整理する。
- ・復習：配布資料、講義から授業内容を振り返り、小レポートを提出する。

評価方法

- ・特別の教科 道徳の理論と実践の理解度（20%）
- ・特別の教科 道徳の構造と指導計画の実践的な作成（40%）
- ・特別の教科 道徳の指導案作成（40%）

テキスト

小学校「学習指導要領解説 特別の教科 道徳編」（文部科学省最新版）・その他、配布資料